

# ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2025年4月)

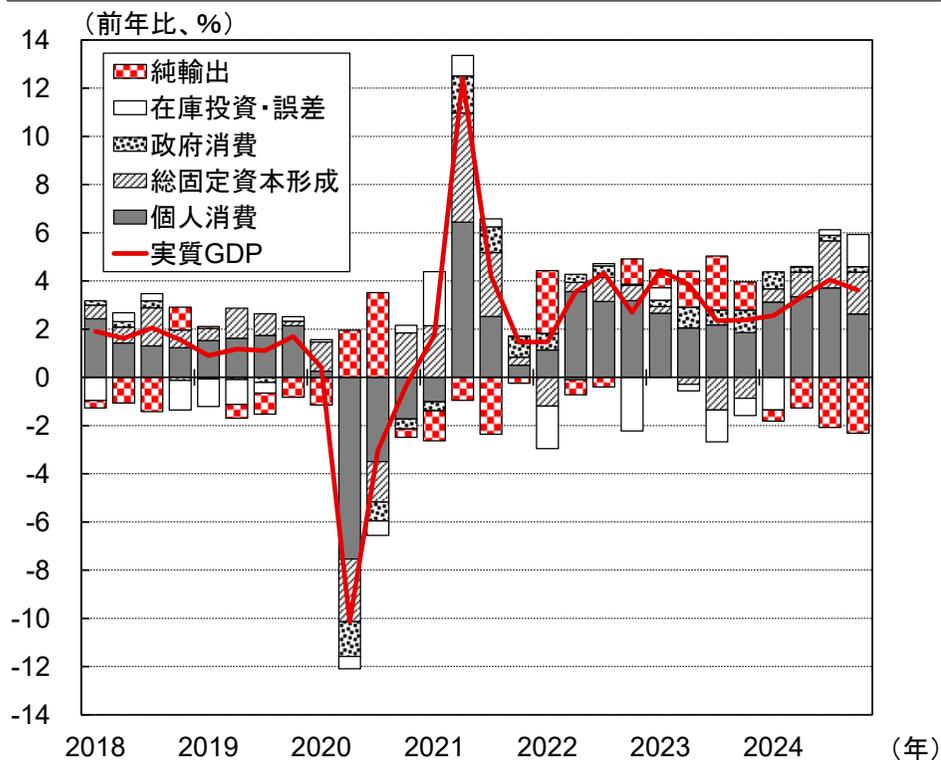
2025年4月15日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

# 1. ブラジル (1) 景気概況

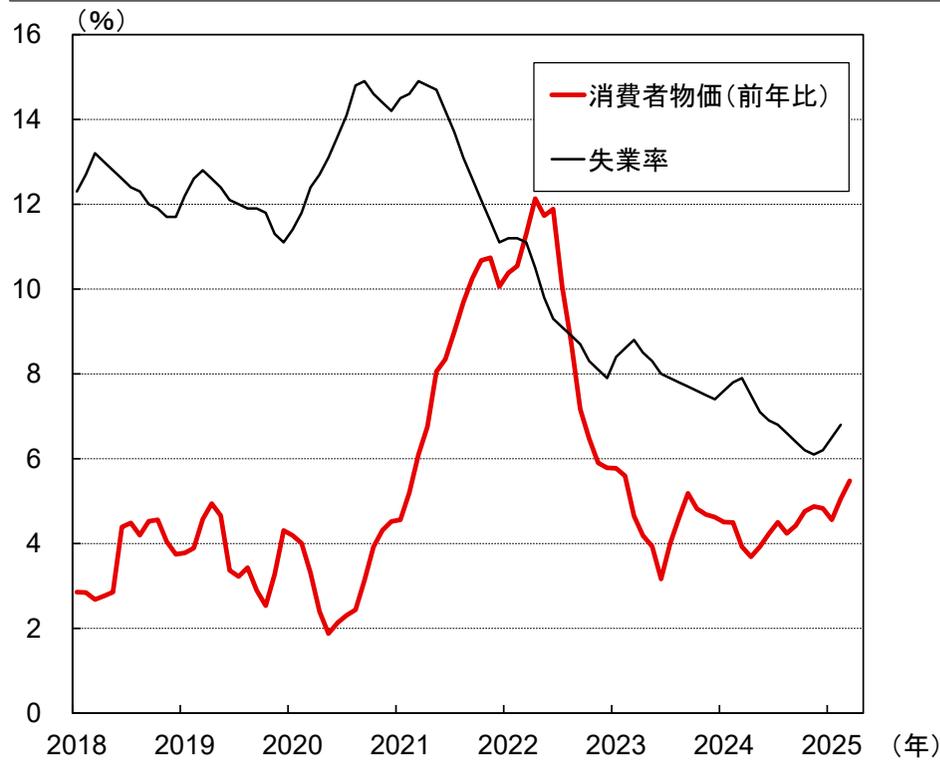
- 2024年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+3.6%と、前期(同+4.0%)から減速。需要項目別の寄与度では、在庫投資・誤差(同+1.3%ポイント)はプラス幅が拡大した一方、個人消費(同+2.6%ポイント)と総固定資本形成(同+1.7%ポイント)はプラス幅を縮小。また、輸入は前期に引き続き増加し、輸出はほぼ横這いであったことから、純輸出の寄与度(同▲2.3%ポイント)はマイナス幅が拡大。なお、2024年通年の実質GDP成長率は前年比+3.4%と前年(同+3.2%)から小幅に加速。
- 2025年2月の失業率は6.8%。昨年11月までは低下基調で推移していたが、12月以降は3ヵ月連続で上昇。
- 2025年3月の消費者物価指数は前年比+5.5%と、昨年10月以降、ブラジル中央銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1.5%)を上回る推移が続く。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

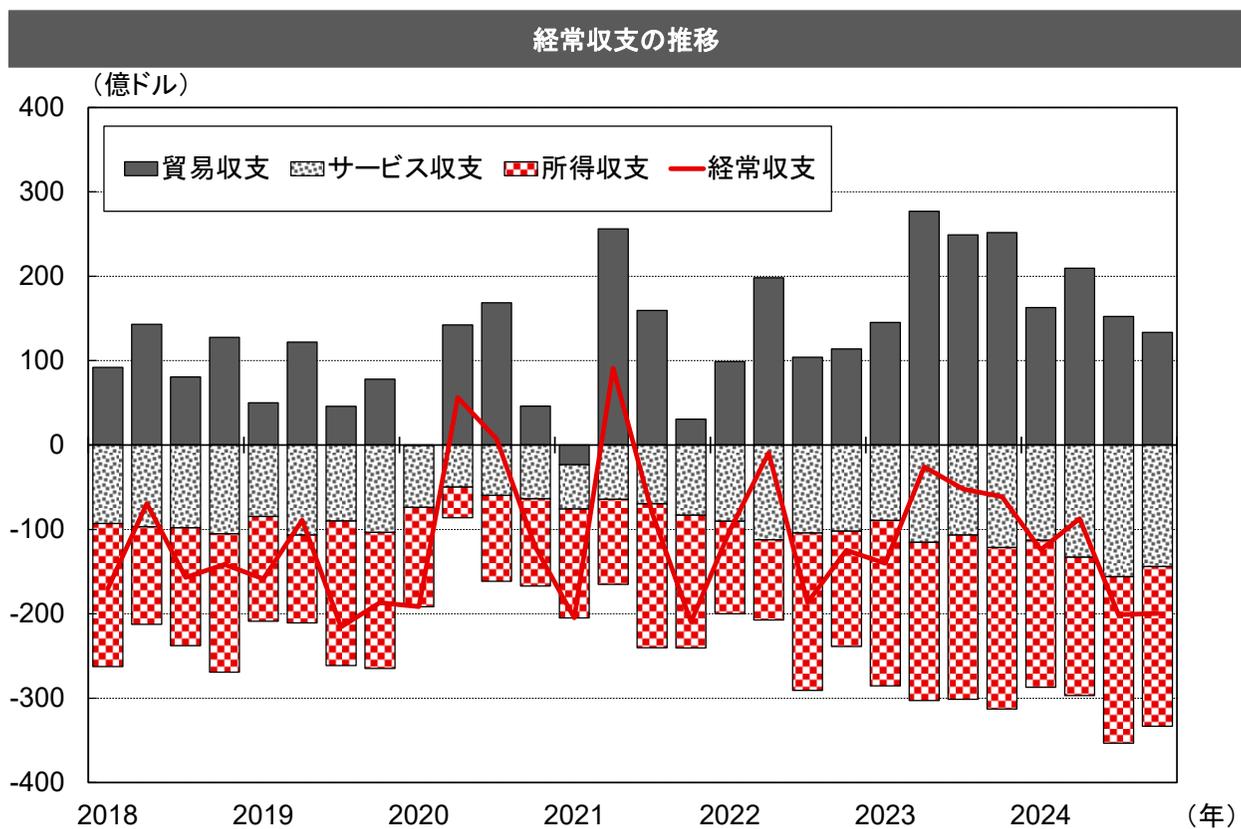
消費者物価上昇率と失業率の推移



(注)失業率は未季節調整値。  
(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (2) 経常収支

- 2024年10-12月期の経常収支は▲200億ドルと、前年同期の▲61億ドルから赤字幅が拡大。
- 所得収支は▲189億ドル(同▲191億ドル)とほぼ横這いであった一方、サービス収支は▲144億ドル(同▲122億ドル)と赤字幅が拡大したほか、輸入の増加等を背景に貿易収支は134億ドル(前年同期は252億ドル)と黒字が大幅に縮小。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (3) 金融市場

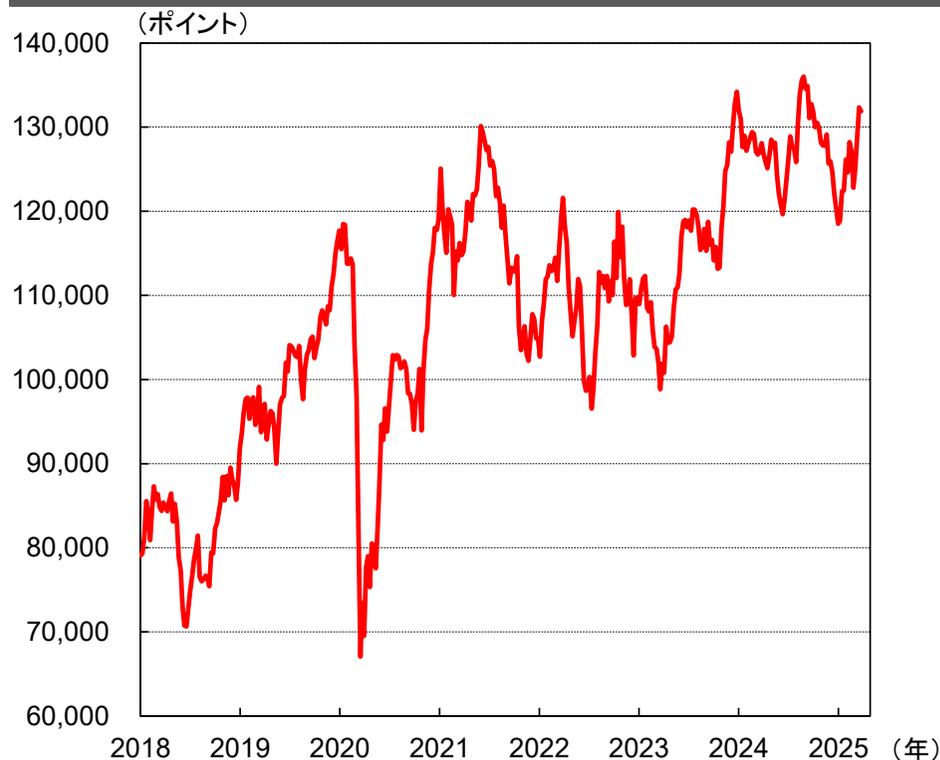
- ブラジル中央銀行は2025年3月の金融政策委員会において利上げを行い、政策金利を14.25%とした。これにより2024年9月から5会合連続の利上げとなり、2023年7月31日(利下げ開始前のピーク)の13.75%も上回った。ブラジル中銀は今回の利上げの目的を、国内経済が堅調に推移する中で、目標を上回って推移するインフレ率を低下させるためとしている。この利上げの影響もあり、ブラジルレアルの対ドル相場は、2024年末の1ドル=6.0レアル台という史上最安値圏からレアル高が進み、足元は1ドル=5.0レアル台後半で推移している。
- 株価(ボブスパ指数)は足元上昇傾向に転換し、2024年10月以来の130,000ポイント超で推移。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボブスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (4) 経済・金融概況

## ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/1-3	4-6	7-9	10-12	24/12	25/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.0)	(3.2)	(3.4)	(2.6)	(3.3)	(4.0)	(3.6)				
経済活動指数○	142.76	146.83	151.98	149.68	151.43	153.10	153.70	107.32	108.32	108.79	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲0.7)	(0.3)	(2.7)	(0.5)	(0.7)	(1.2)	(▲0.2)	(▲0.3)	(▲0.0)	(▲0.1)	—
設備稼働率○	(80.4)	(78.7)	(79.1)	(79.1)	(79.2)	(79.2)	(78.8)	(78.4)	(78.4)	(78.9)	—
小売売上高(前年比、%)	(1.1)	(1.7)	(4.8)	(5.9)	(4.7)	(4.1)	(4.6)	(2.0)	(3.1)	(1.5)	—
自動車国内販売台数(千台)	2,104	2,309	2,635	515	629	715	776	257	171	185	196
失業率(%)	(9.5)	(8.0)	(6.9)	(7.8)	(7.2)	(6.6)	(6.2)	(6.2)	(6.5)	(6.8)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(9.3)	(4.6)	(4.4)	(4.3)	(4.0)	(4.4)	(4.8)	(4.8)	(4.6)	(5.1)	(5.5)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(11.2)	(▲6.1)	(0.5)	(▲6.4)	(▲1.8)	(4.1)	(6.7)	(7.2)	(7.6)	(9.8)	(9.9)
輸出(FOB)(億ドル)	3,341	3,397	3,370	785	901	887	826	251	255	232	—
(前年比、%)	(19.0)	(1.7)	(▲0.8)	(1.5)	(▲0.8)	(▲0.1)	(▲4.9)	(▲13.3)	(▲5.4)	(▲1.8)	—
輸入(FOB)(億ドル)	2,726	2,408	2,629	622	691	734	693	210	242	241	—
(前年比、%)	(24.2)	(▲11.7)	(9.2)	(▲1.0)	(9.5)	(15.0)	(12.3)	(3.0)	(13.1)	(25.7)	—
貿易収支(億ドル)	515	923	658	163	210	152	134	41	13	▲10	—
経常収支(億ドル)	▲422	▲279	▲612	▲124	▲87	▲201	▲200	▲96	▲86	▲88	—
直接投資ネット流入(億ドル)	746	624	711	246	132	178	154	28	65	93	—
外貨準備高(億ドル)◎	2,719	3,170	2,827	3,172	3,067	3,191	2,827	2,827	2,867	2,842	2,918
ベースマネー(億リアル)◎	4,197	4,227	4,512	4,178	4,369	4,299	4,512	4,512	4,399	4,409	4,433
政策金利(Seric Target rate)◎	(13.75)	(11.75)	(12.25)	(10.75)	(10.50)	(10.75)	(12.25)	(12.25)	(13.25)	(13.25)	(14.25)
対米ドル為替相場◎	5.217	4.841	6.192	4.996	5.559	5.448	6.192	6.192	5.830	5.849	5.742
株価指数(ボベスパ指数)◎	109,735	134,185	120,283	128,106	123,907	131,816	120,283	120,283	126,135	122,799	130,260

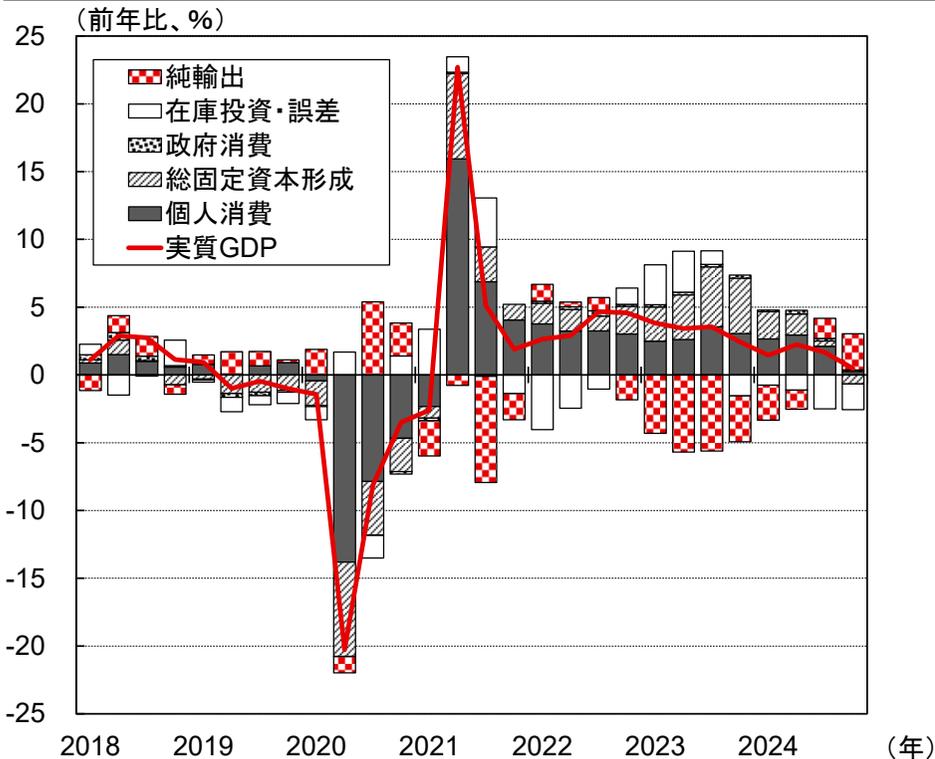
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (1) 景気概況

- 2024年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+0.5%と、前期(同+1.7%)から減速。需要項目別の寄与度では、輸出の増加により純輸出(同+2.7%ポイント)のプラス幅が拡大したほか、在庫投資・誤差(同▲2.2%ポイント)はマイナス幅が縮小した。一方、個人消費(同+0.3%ポイント)はプラス幅が縮小し、総固定資本形成(同▲0.7%ポイント)はマイナスに転じた。なお、2024年通年の実質GDP成長率は前年比+1.5%と前年(同+3.3%)から低下。
- 2025年2月の失業率は2.7%と引き続き低位で推移。
- 2025年3月の消費者物価上昇率は前年比+3.8%と、メキシコ銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)の範囲内まで低下。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

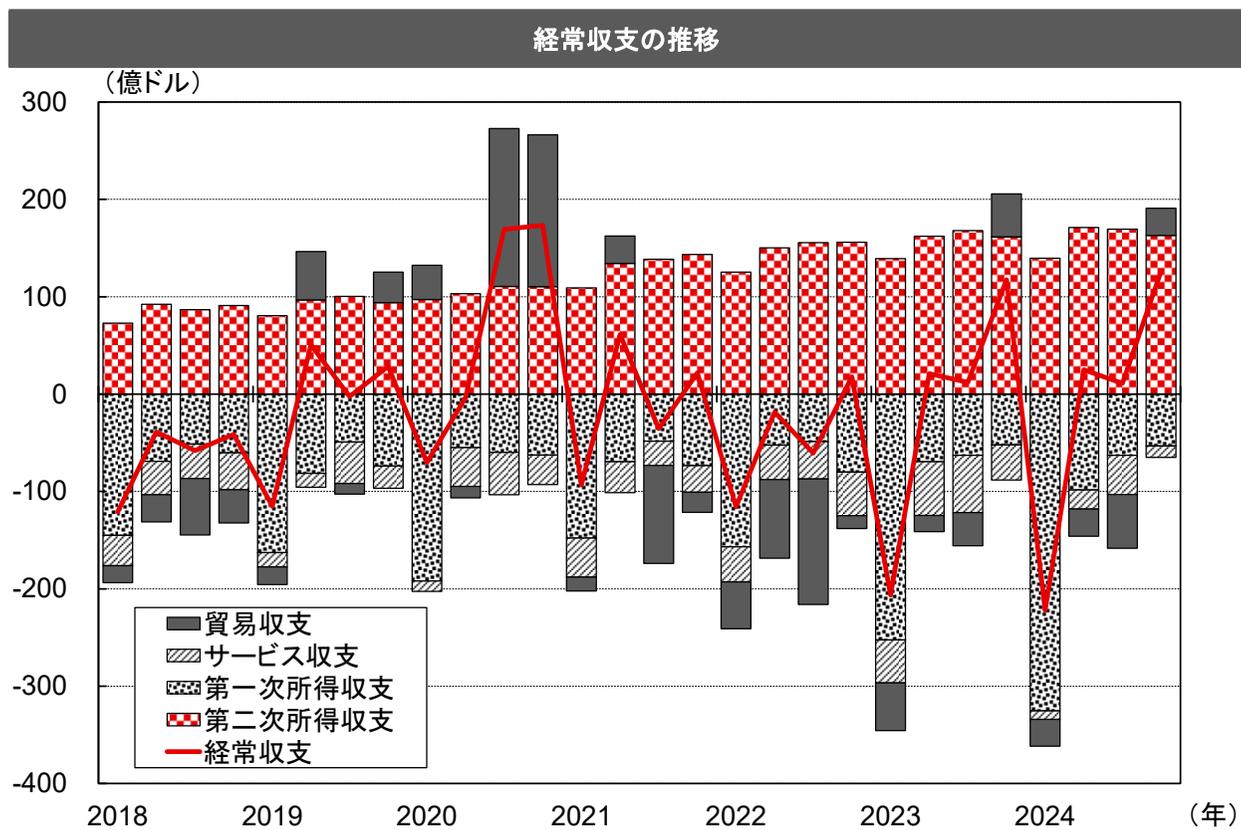
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (2) 経常収支

- 2024年10-12月期の経常収支は126億ドルと、前年同期の117億ドルから黒字幅が小幅拡大。
- 貿易収支は28億ドル(前年同期+44億ドル)と黒字幅が縮小。サービス収支は▲12億ドル(同▲36億ドル)と赤字幅が縮小し、所得収支は110億ドル(同109億ドル)とほぼ横這い。

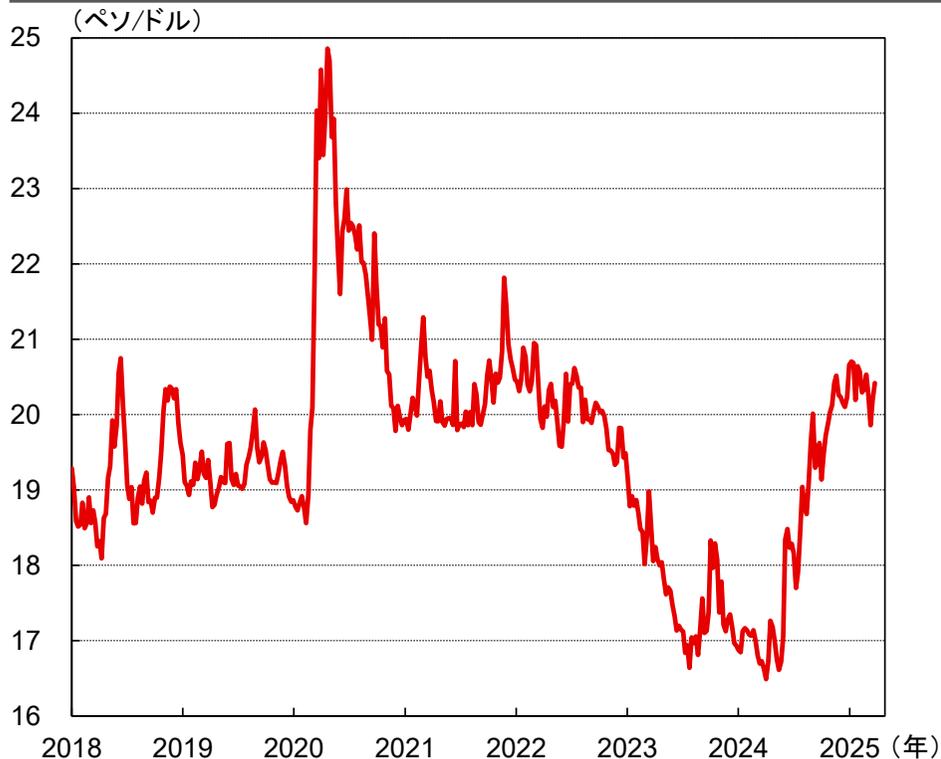


(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (3) 金融市場

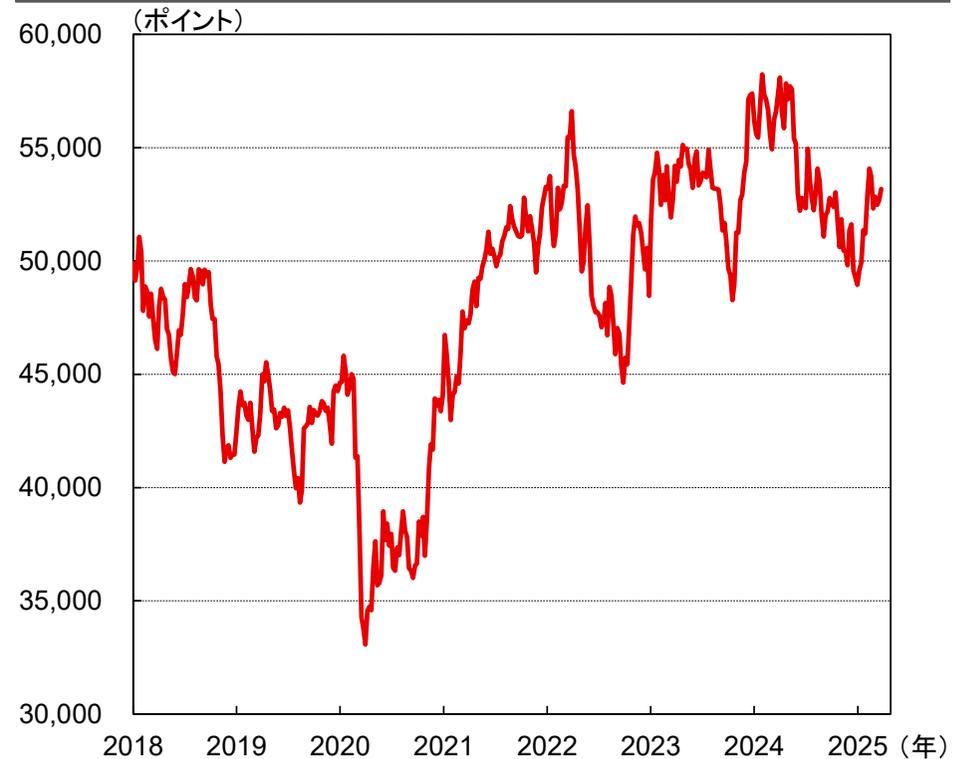
- メキシコペソの対ドル相場は、米国トランプ政権がメキシコからの輸入品に25%の追加関税を課す方針を示したことなどの影響でペソ安が進んでいたが、2月の関税適用開始の一時延期やUSMCA準拠品への課税免除、4月に発表された相互関税からメキシコが除外されたことなどによりペソ安の進行に歯止めがかかり、現在は1ドル=20ペソ付近で推移。
- 足元のペソ安傾向が緩和していることと、国内のインフレ率が落ち着いていることから、メキシコ銀行(中銀)は2025年3月の金融政策決定会合において、政策金利を9.0%へと引き下げた。
- 株価(ボルサ指数)は、2025年1月以降上昇傾向に転じ、足元では50,000ポイントから55,000ポイントにて推移。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (4) 経済・金融概況

### メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/1-3	4-6	7-9	10-12	24/12	25/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.7)	(3.3)	(1.5)	(1.5)	(2.2)	(1.7)	(0.5)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(4.8)	(3.4)	(0.1)	(▲1.1)	(0.1)	(0.3)	(▲1.7)	(▲1.6)	(▲0.6)	(2.5)	—
自動車生産台数(千台)	3,308	3,779	3,989	929	1,068	1,034	959	225	312	317	339
自動車販売台数(千台)	897	1,361	1,490	350	355	369	416	146	120	118	127
原油産出量(千バレル/日)*	1,784	1,875	1,759	1,820	1,784	1,764	1,670	1,619	1,617	1,621	—
(前年比、%)	(1.6)	(5.1)	(▲6.2)	(▲2.8)	(▲6.2)	(▲5.7)	(▲10.0)	(▲12.4)	(▲11.6)	(▲10.9)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	88.8	70.9	70.3	72.7	74.2	69.2	65.0	64.8	67.3	68.7	—
失業率(%)○	(3.3)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.6)	(2.6)	(2.6)	(2.7)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(7.9)	(5.5)	(4.7)	(4.6)	(4.8)	(5.0)	(4.5)	(4.2)	(3.6)	(3.8)	(3.8)
輸出(FOB)(億ドル)	5,777	5,930	6,171	1,435	1,559	1,563	1,614	517	444	493	—
(前年比、%)	(16.7)	(2.7)	(4.1)	(1.7)	(3.4)	(4.3)	(6.7)	(4.9)	(5.5)	(▲2.9)	—
輸入(CIF)(億ドル)	6,046	5,985	6,253	1,462	1,587	1,618	1,586	491	490	471	—
(前年比、%)	(19.6)	(▲1.0)	(4.5)	(0.2)	(4.1)	(5.6)	(8.0)	(9.1)	(5.9)	(▲8.3)	—
経常収支(億ドル)	▲177	▲56	▲60	▲222	25	11	126				
資本収支(億ドル)	▲1	▲0	▲1	0.1	▲0.0	▲0.6	▲0.1				
外貨準備高(億ドル)◎	1,991	2,128	2,290	2,172	2,200	2,267	2,290	2,290	2,308	2,343	2,373
ベースマネー(億ペソ)◎	27,000	29,605	32,934	30,433	29,952	30,730	32,934	32,934	32,670	32,281	32,512
政策金利◎	(10.50)	(11.25)	(10.00)	(11.00)	(11.00)	(10.50)	(10.00)	(10.00)	(10.00)	(9.50)	(9.00)
対米ドル為替相場◎	19.47	16.92	20.79	16.53	18.25	19.64	20.79	20.79	20.61	20.51	20.44
株価指数(ボルサ指数)◎	48,464	57,386	49,513	57,369	52,440	52,477	49,513	49,513	51,210	52,326	52,484

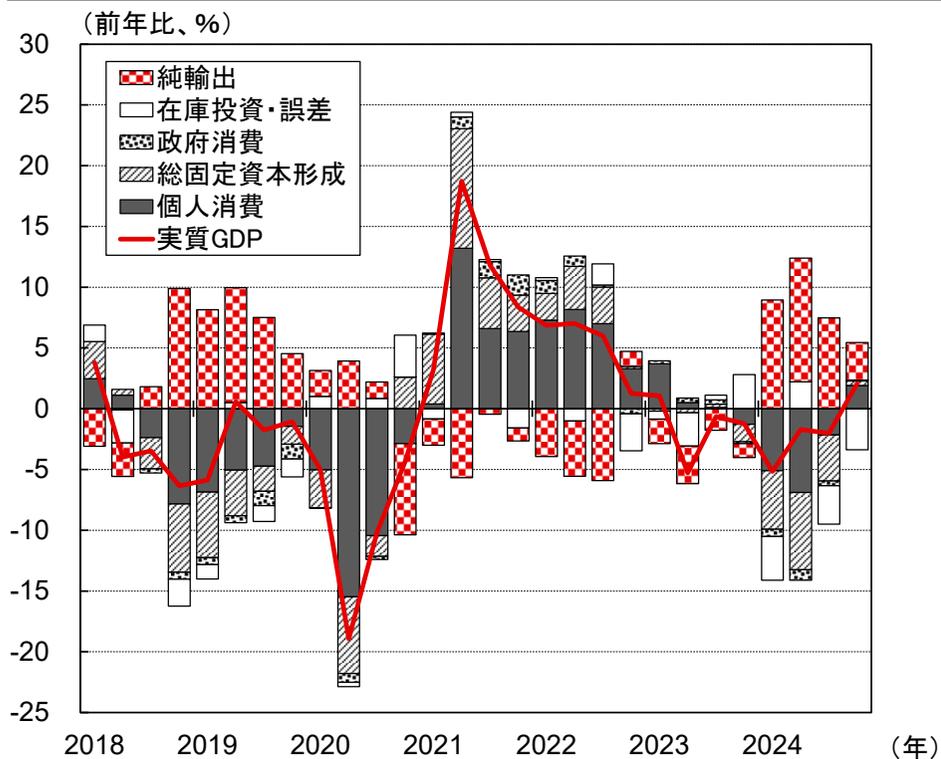
(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (1) 景気概況

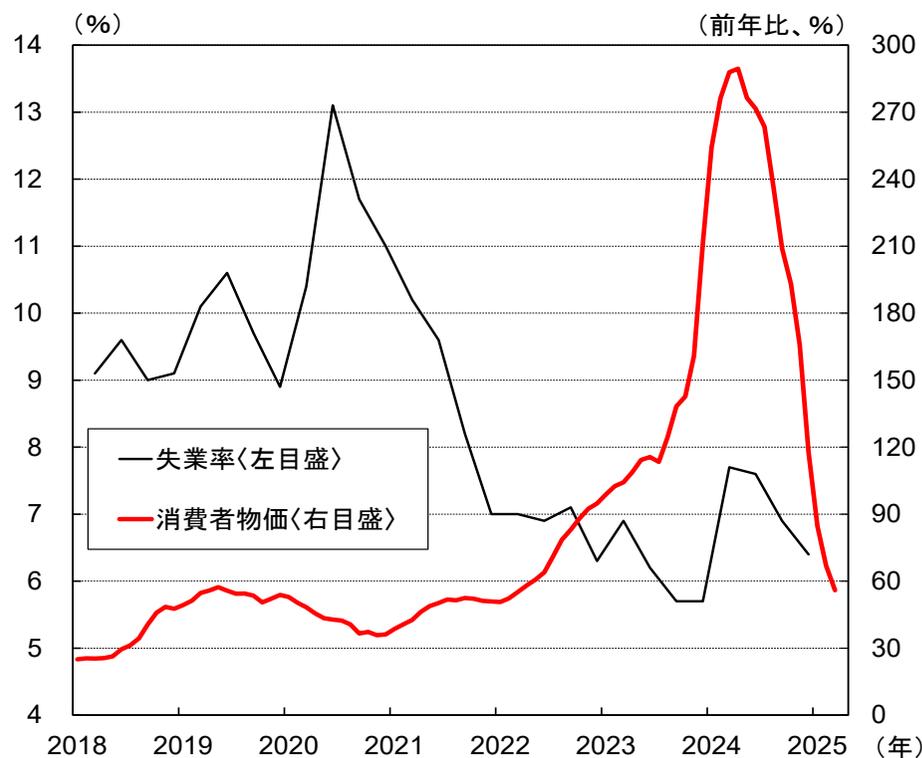
- 2024年10-12月期の実質GDP成長率は、前年比+2.1%と2023年1-3月期以来のプラス成長。需要項目別の寄与度では、純輸出(同+3.1%ポイント)はプラス幅が縮小し、在庫投資・誤差(同▲3.4%ポイント)はマイナス幅が僅かに増加した一方、個人消費(同+1.9%ポイント)と総固定資本形成(同+0.4%ポイント)がプラス転化。なお、2024年通年の実質GDP成長率は前年比▲1.7%と前年(同▲1.6%)からマイナス幅がやや拡大。
- 2024年10-12月期の失業率は6.4%と前年同期を上回って推移しているものの、足元では低下傾向が続く。
- 2025年3月の消費者物価上昇率は、前年比+55.9%と11ヵ月連続で低下。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移

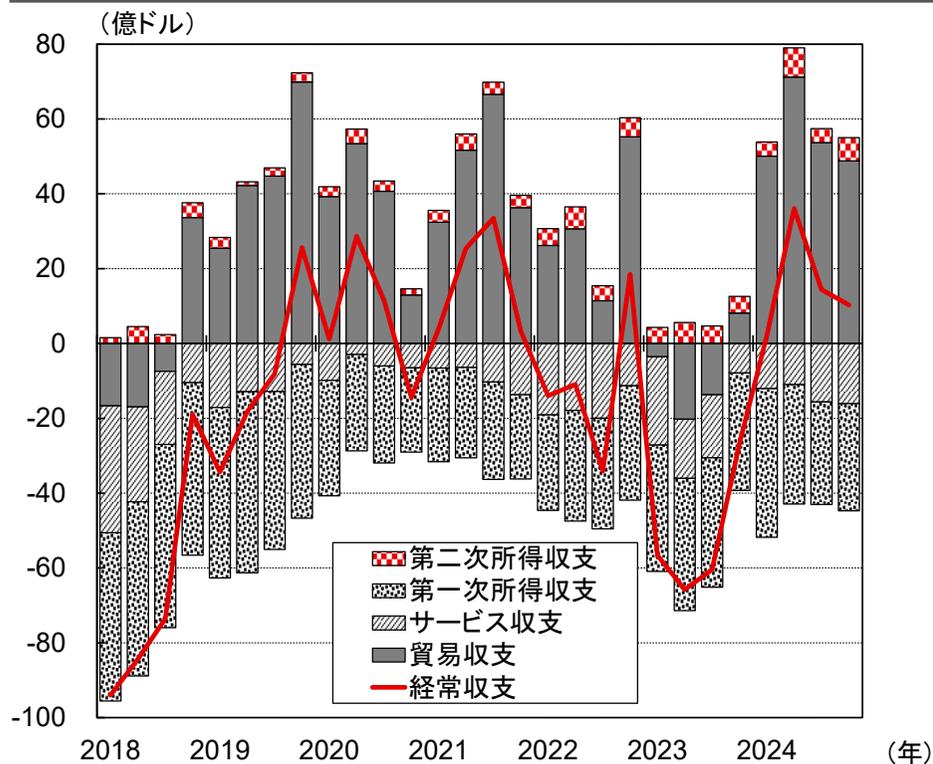


(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

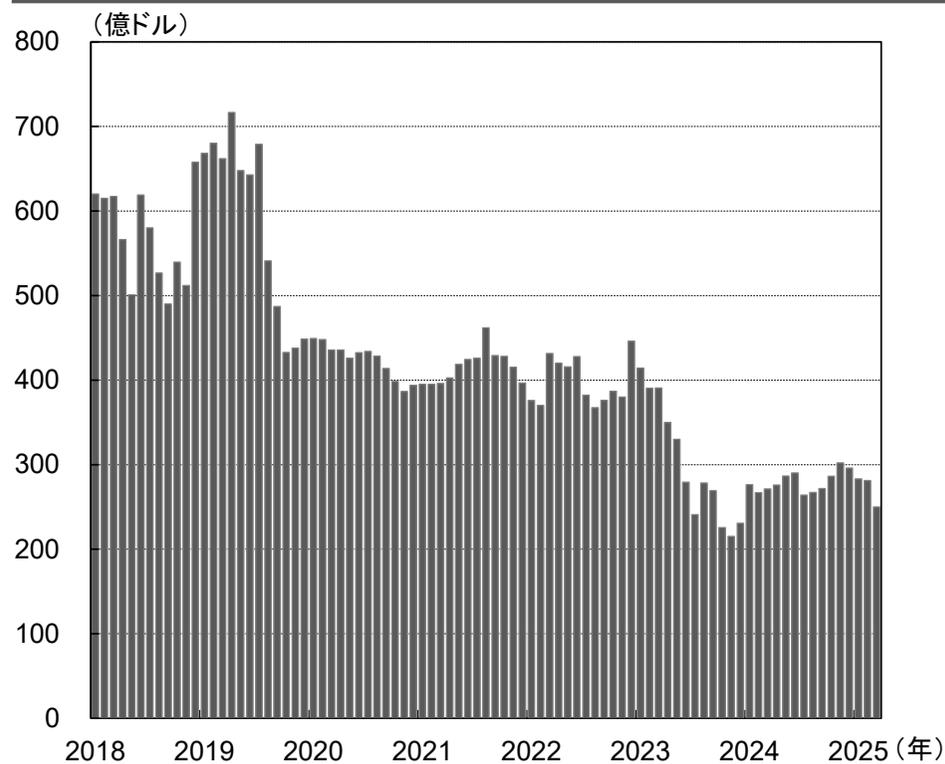
- 2024年10-12月期の経常収支は10億ドルと、前年同期の▲27億ドルから黒字に転じた。2023年は全四半期を通じて赤字であったが、2024年は全四半期を通じて黒字で着地。
- 内訳をみると、サービス収支は▲16億ドル(前年同期: ▲8億ドル)と赤字幅が拡大した一方、貿易収支は49億ドル(同8億ドル)と黒字幅が拡大し、所得収支は▲22億ドル(同▲27億ドル)と赤字幅が縮小した。
- 2025年3月末時点の外貨準備高は250億ドル。なお、2025年4月にアルゼンチン政府がIMFとの間で200億ドルの融資で合意に達したことに加え、世界銀行は120億ドル、米州開発銀行(IDB)は100億ドルの金融支援を表明した。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

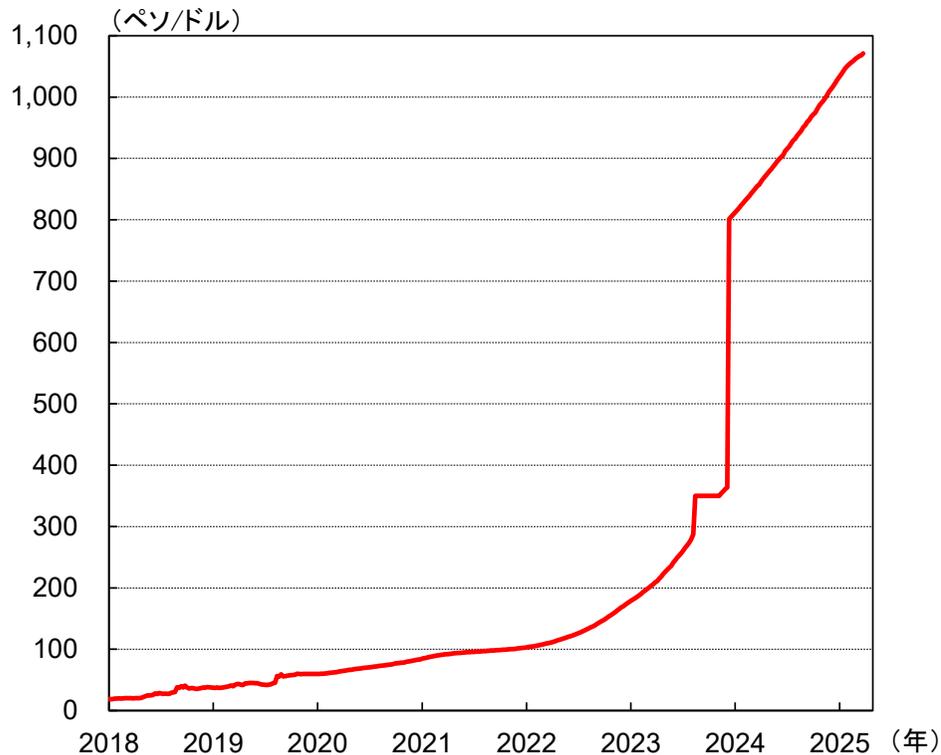


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (3) 金融市場

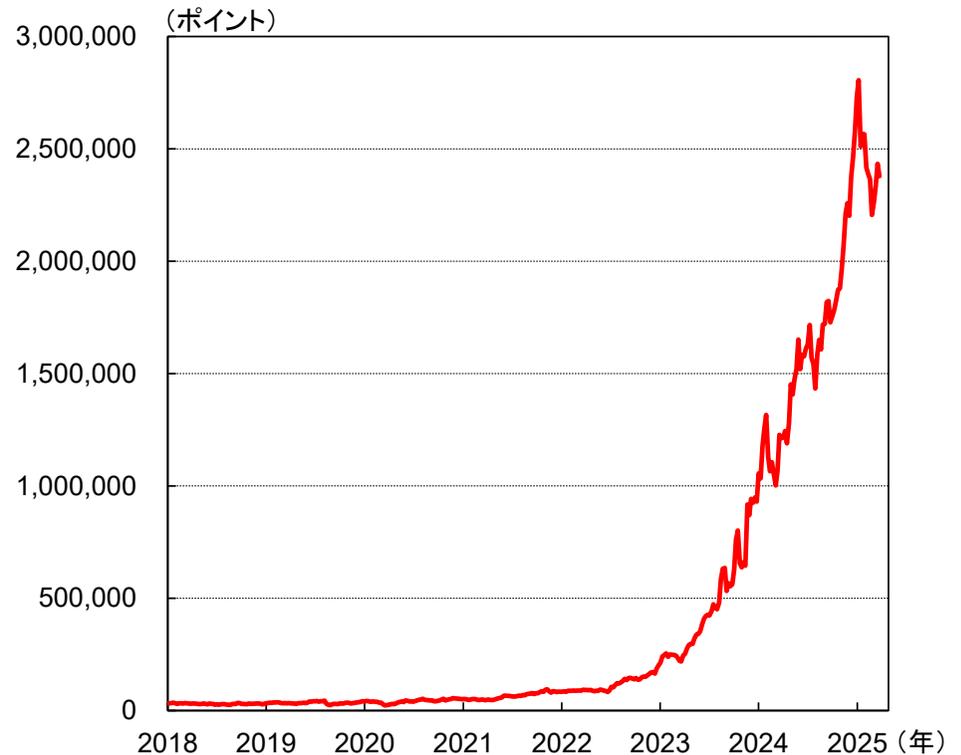
- IMFなどからの融資受入に先立ち、中央銀行は4月からアルゼンチンペソのペッグ制を緩めると発表。
- アルゼンチンペソの対ドル相場(公定レート)は、足元1ドル=1,000ペソ台後半まで下落。
- 中央銀行は、インフレ率のさらなる低下を見据え、2025年1月に政策金利を29%まで引き下げた。
- 株価(メルバル指数)は、上昇傾向が2025年1月に一服し、足元は2,300,000ポイント付近で推移。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

#### アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/1-3	4-6	7-9	10-12	24/12	25/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.3)	(▲1.6)	(▲1.7)	(▲5.2)	(▲1.7)	(▲2.0)	(2.1)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(4.2)	(▲1.7)	(▲9.1)	(▲14.5)	(▲17.2)	(▲6.2)	(1.7)	(8.7)	(7.1)	(5.6)	—
建設活動指数(前年比、%)	(3.5)	(▲3.1)	(▲27.1)	(▲29.5)	(▲35.1)	(▲24.0)	(▲19.7)	(▲10.2)	(▲1.3)	(3.7)	—
自動車生産台数(千台)	537	611	507	103	113	146	144	38	30	42	42
自動車販売台数(千台)	376	407	411	79	83	116	133	49	34	46	48
失業率(%)	(6.8)	(6.1)	(7.2)	(7.7)	(7.6)	(6.9)	(6.4)				
消費者信頼感指数	36.9	41.1	39.5	36.1	37.6	39.9	44.5	46.0	47.4	47.3	44.1
消費者物価上昇率(前年比、%)	(72.4)	(134.5)	(208.1)	(273.5)	(278.7)	(234.2)	(154.4)	(117.8)	(84.5)	(66.9)	(55.9)
輸出(FOB)(億ドル)	884	668	797	174	208	210	206	70	59	61	—
(前年比、%)	(13.5)	(▲24.5)	(19.4)	(9.5)	(18.1)	(18.3)	(32.0)	(33.4)	(9.6)	(10.1)	—
輸入(CIF)(億ドル)	815	737	608	124	137	156	157	54	58	59	—
(前年比、%)	(29.0)	(▲9.6)	(▲17.5)	(▲23.7)	(▲30.4)	(▲18.3)	(6.3)	(26.2)	(24.7)	(42.3)	—
貿易収支(億ドル)	69	▲69	189	50	71	54	49	17	2	2	—
外貨準備高(億ドル)◎	446	231	296	271	290	272	296	296	283	281	250
ベースマネー(億ペソ)◎	52,038	96,080	297,286	124,637	201,825	223,961	297,286	297,286	302,466	302,822	305,342
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	90,862	237,481	784,707	314,366	436,475	590,969	784,707	784,707	834,222	883,250	—
(前年比、%)	(69.6)	(161.4)	(230.4)	(192.6)	(221.1)	(242.0)	(230.4)	(230.4)	(223.6)	(212.7)	—
経常収支(億ドル)	▲41	▲210	63	2	36	14	10				
対米ドル為替相場◎	177.13	808.48	1,032.50	857.42	911.75	970.92	1,032.50	1,032.50	1,053.50	1,064.38	1,073.88
株価指数(メルバル指数)◎	202,085	929,704	2,533,635	1,213,485	1,611,295	1,697,401	2,533,635	2,533,635	2,564,659	2,205,801	2,338,761

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行本店ビル

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp  
川畑 昭人 akito\_kawabata@iima.or.jp